

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 9 月 1 0 日

宮崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 石 本 正 常

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 9 月 2 4 日から 令和 8 年 1 0 月 1 日まで	
開札期日	日 時 場 所	令和 8 年 1 0 月 8 日 午前 9 時 3 0 分 宮崎地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 場 所	令和 8 年 1 0 月 2 2 日 午前 9 時 5 0 分 宮崎地方裁判所民事部
買受申出の保証の 提供方法		下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 3 3 条)		☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを 令和 8 年 9 月 1 0 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。		

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	1,066,000 852,800	一括	213,200	43,049	0
1	883,000				
2	183,000				

物 件 目 録

1 所 在 延岡市土々呂町四丁目
地 番 4 2 1 1 番
地 目 宅地
地 積 2 4 9 . 4 4 平方メートル

共有者 A 持分 6 分の 1
共有者 B 持分 6 分の 1
共有者 C 持分 3 分の 1
共有者 D 持分 3 分の 1

2 所 在 延岡市土々呂町四丁目 4 2 1 1 番地

家屋 番号 4 2 1 1 番

種 類 居宅

構 造 木造瓦・鉄板葺 2 階建

床 面 積 1 階 8 7 . 3 8 平方メートル
2 階 2 7 . 5 4 平方メートル

共有者 A 持分 6 分の 1
共有者 B 持分 6 分の 1
共有者 C 持分 3 分の 1
共有者 D 持分 3 分の 1

物 件 明 細 書

令和 8年 6月 3日

宮崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 石 本 正 常

1 不動産の表示

【物件番号 1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 2】

本件共有者Aが占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありません。また、記載されている事実や判断も要点のみの簡素なものですので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があ

ります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。

- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。また、B I T（不動産競売物件情報サイト）の「お知らせ」ページからダウンロードが可能です。

物 件 目 録

1 所 在 延岡市土々呂町四丁目
地 番 4 2 1 1 番
地 目 宅地
地 積 2 4 9 . 4 4 平方メートル

共有者 A 持分6分の1
共有者 B 持分6分の1
共有者 C 持分3分の1
共有者 D 持分3分の1

2 所 在 延岡市土々呂町四丁目 4 2 1 1 番地

家屋 番号 4 2 1 1 番

種 類 居宅

構 造 木造瓦・鉄板葺2階建

床 面 積 1階 8 7 . 3 8 平方メートル
2階 2 7 . 5 4 平方メートル

共有者 A 持分6分の1
共有者 B 持分6分の1
共有者 C 持分3分の1
共有者 D 持分3分の1

令和8年(ケ)第7号
令和8年4月2日受理
令和8年4月27日提出

現況調査報告書

宮崎地方裁判所
執行官 佐藤 浩 二

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | | |
|---|-----------------|-------------|---|
| 1 | 所在地 | 在番目積 | 延岡市土々呂町四丁目
4 2 1 1 番
宅地
2 4 9 . 4 4 平方メートル |
| | 共有者 | A | 持分 6 分の 1 |
| | 共有者 | B | 持分 6 分の 1 |
| | 共有者 | C | 持分 3 分の 1 |
| | 共有者 | D | 持分 3 分の 1 |
| | | | |
| 2 | 所 家 屋 種 構 床 面 積 | 在 番 号 類 造 積 | 延岡市土々呂町四丁目 4 2 1 1 番地
4 2 1 1 番
居宅
木造瓦・鉄板葺 2 階建
1 階 8 7 . 3 8 平方メートル
2 階 2 7 . 5 4 平方メートル |
| | 共有者 | A | 持分 6 分の 1 |
| | 共有者 | B | 持分 6 分の 1 |
| | 共有者 | C | 持分 3 分の 1 |
| | 共有者 | D | 持分 3 分の 1 |

不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	「住居表示未実施」
土地	物件 1
現況地目	☒ 宅地 ☐ 公衆用道路 ☐
形状	☐ 公図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり
占有者及び占有状況	☒ 土地共有者ら ☐ その他の者 上記の者らが本土地上に下記建物を共有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある
その他の事項	・本土地の北西側は市道(土地建物位置関係図)に接する。 ・従物等として井戸が存在する(土地建物位置関係図)。
建物	物件 2
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる(☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類: 構造: 床面積:
占有者及び占有状況	☒ 建物共有者 A ☐ その他の者 上記の者が、本建物に動産を残置したまま空き家の状態で管理・占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)
その他の事項	
執行官保管の仮処分	☒ ない
土地建物の位置関係	☒ 土地建物位置関係図のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
(2枚目)

関係人の陳述等	
陳述者(当事者との関係)	陳述内容等
■延岡市役所土木課担当者	・ 物件 1 土地の北西側に接する道路は、市道土々呂南北 2 号線です。
■ A (申立人)	・ 私は、本件物件を管理しています。 ・ 物件 2 建物内には多くの動産がありますが、全て私の亡祖父 (E) 及び亡祖母らのものになります。同動産の中には、別れた亡父 F (令和 4 年 4 月 26 日死亡) の物も残されていますので、最後に上記建物に居住していたのは同 F と思われます。 ・ 本件物件の不具合等については、私が 40 年以上前に来た当時の記憶しかないので全く分かりません。
執行官の意見	
1 物件 1 土地の全部は物件 2 建物の敷地となっている。同土地は、ほぼ平坦であり北西側市道方向に緩やかに傾斜している。上記土地には雑草等が生い茂り、井戸が存在する(土地建物位置関係図、写真①、⑦)。 2 境界については、境界標等は見られないものの、市道との利用状況及びブロック積みで区分され概ね確認できる。 なお、上記ブロック積み部分に複数の破損を確認した(写真④)。 3(1) 物件 2 建物につき、経年による著しい劣化が認められる。外壁材の劣化、外壁部分の崩落、軒裏・雨戸等の腐食・劣化及び基礎部分の複数のひび割れを確認した(写真⑩ないし⑬)。内部においては、複数の雨漏り跡、天井の破損(穴)・剥がれ、床・畳の複数個所の撓み、くれ縁床の剥がれ、風呂タイルのヒビ割れ及び内壁のシミ・キズ、建付けの歪み等を確認した(写真⑦ないし⑫)。 なお、シロアリの被害は不明である。 (2) 上記建物内には複数の動産が残置されている。また、同建物内に猫のトイレが存在することから、猫を飼っていたものと思われる。 4 本件物件の占有関係は、A の陳述、現場の状況及び関係資料(物件 2 建物内で E、F 等関係の複数の書類・郵便物等を確認した。)等から、他に第三者が占有する徴憑が見られず前記 2 枚目記載のとおり認めた。	

(調査経過用)

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和8年4月6日 11:00-11:10(10)	宮崎地方法務局延岡支局	■底地調査 ■公図(白地)・隣接地登記簿取得 ☐
令和8年4月6日 11:40-12:00(20)	延岡市役所	■建物間取図・公課証明書取得 ☐
令和8年4月6日 13:20-14:00(40)	物件所在地	■現場所確認・占有調査 ■外観写真撮影等 ☐
令和8年4月6日 14:10-14:20(10)	電話聴取	■延西興産株式会社担当者から聴取
令和8年4月6日 14:30-14:35(5)	電話聴取	■申立人代理人弁護士Gから聴取
令和8年4月6日 14:40-14:50(10)	電話聴取	■Aから聴取
令和8年4月15日 10:30-12:00(90)	物件所在地	■評価人同行 ■立入調査・写真撮影等 ■A立会(同人から聴取) ☐
令和8年4月21日 10:20-10:35(15)	電話聴取	■申立人代理人弁護士G法律事務所事務員から聴取

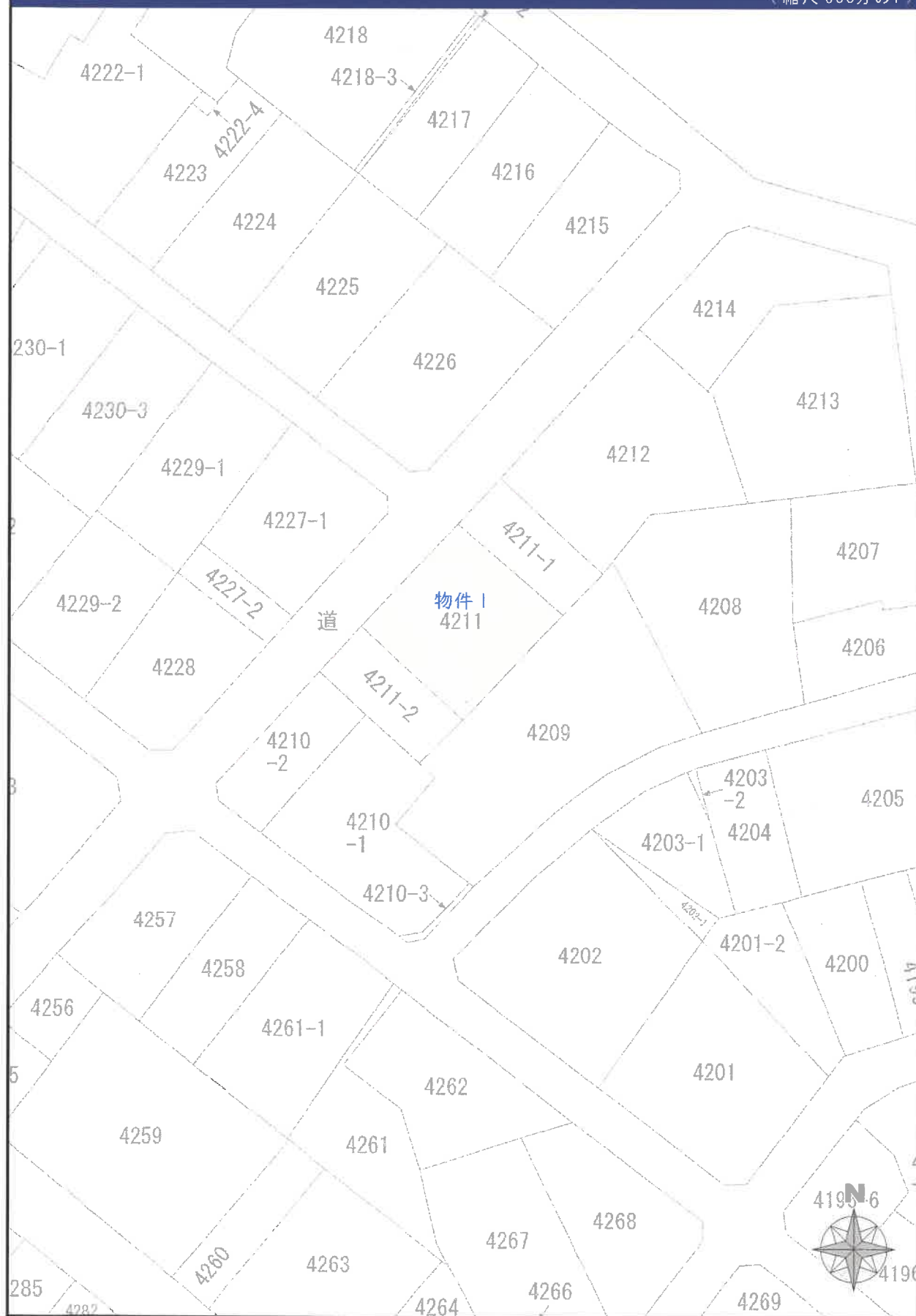
(特記事項)

- 令和8年4月15日
目的物件は施錠されていたため、技術者に解錠させて立ち入った。
- ☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(4枚目)

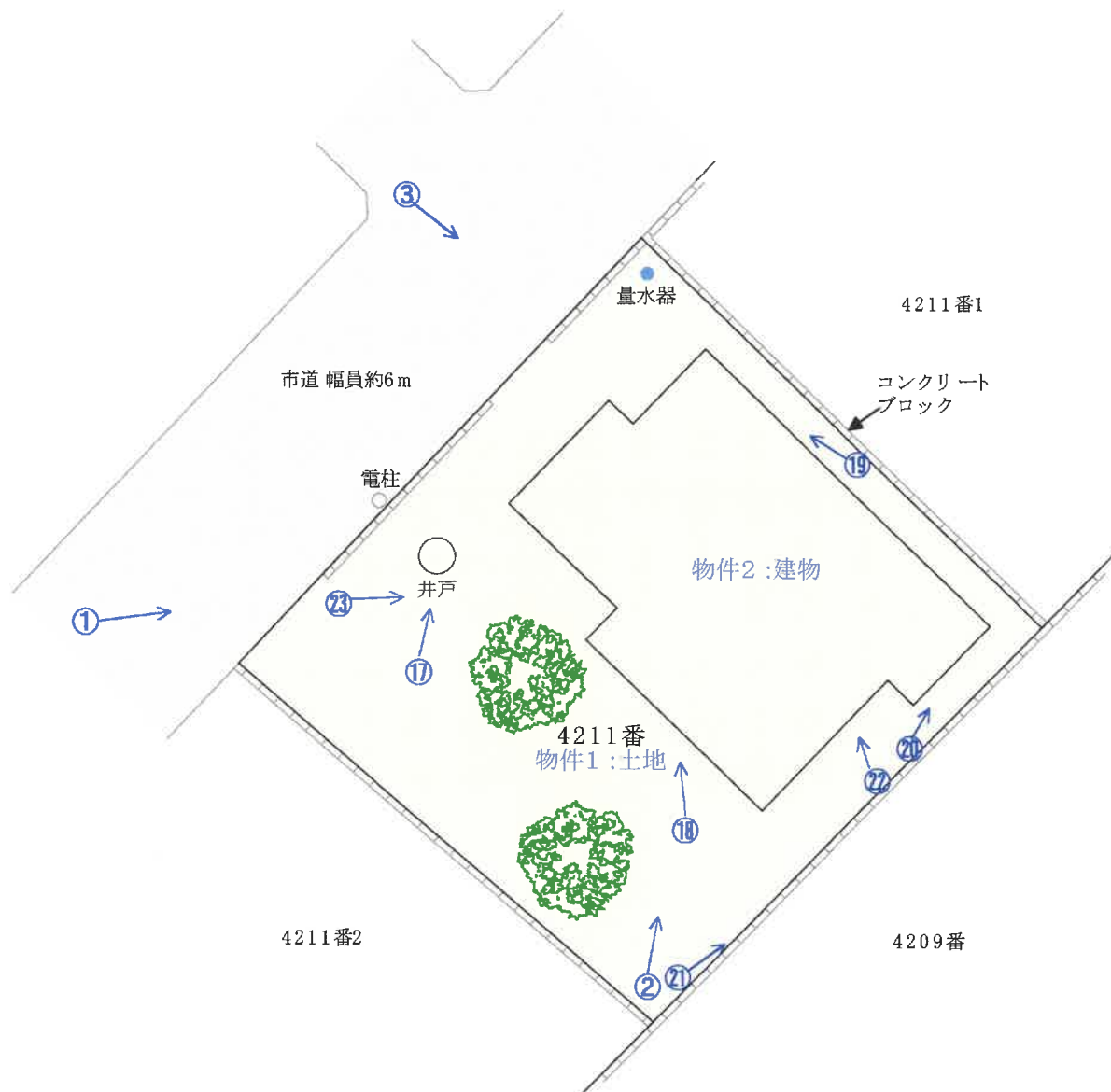
公図写し

宮崎地方法務局延岡支局
(縮尺 600分の1)



土地建物位置関係図

(縮尺200分の1)



※土地建物位置関係図は、建物の配置及び利用状況を図示したものであり、境界を確定した図面ではないので注意を要する。

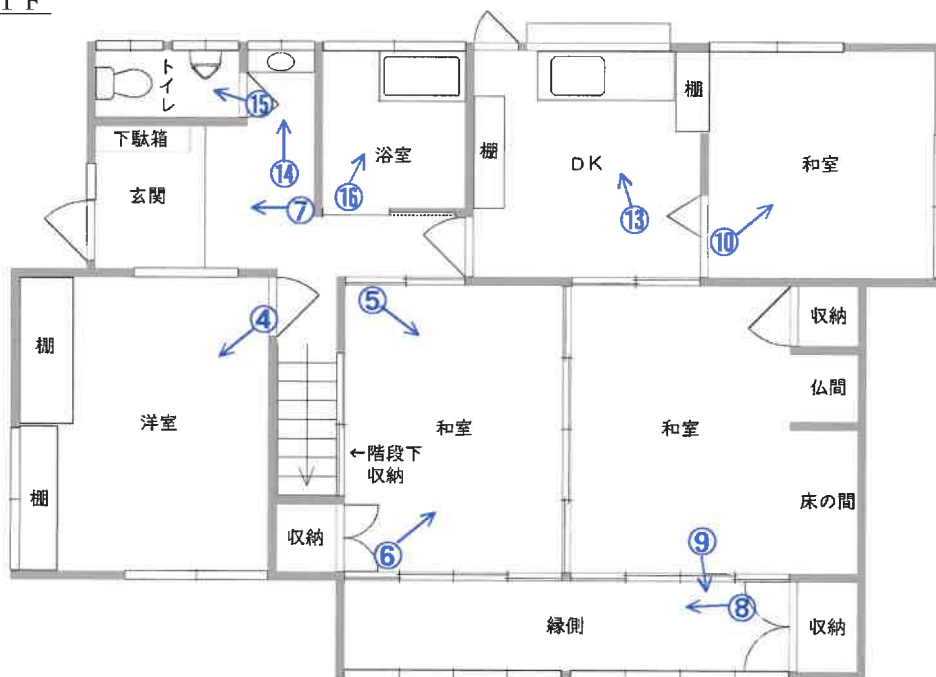
間取図

(縮尺 100分の1)

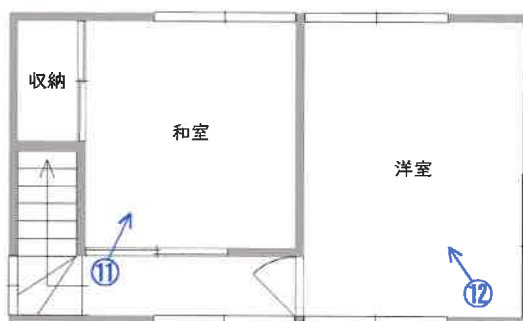
物件2：建物



1 F



2 F



写真撮影位置・方向○→

写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



玄関天井付近の雨漏り跡の状況

写真⑧

くれ縁天井
の破損状況



写真⑨



くれ縁床の状況

写真⑩

天井板の
破損状況



写真⑪

天井板の破
損等状況



写真⑫



雨漏り跡・天井板破損の状況

写真⑬



写真⑭



写真⑮



写真⑯



写真⑰

井戸



写真⑱

基礎のひび割れ



写真⑲

勝手口付近
の状況



写真㉔

南東側部分の状況



写真㉕ ブロック積の状況



写真㉖

南東側
外壁の状況



写真㉗

雨戸等の状況
(2階部分)



副本

令和8年(ケ)第7号

令和8年 4月 15日 現地調査
令和8年 4月 20日 評価
現地調査担当執行官 佐藤浩二

宮崎地方裁判所 御中

評価書

評価人 不動産鑑定士

古清水史子

第 1 評価額

一 括 価 格	
金 1,522,000 円	
内 訳 価 格	
物件 1	金 1,261,000 円
物件 2	金 261,000 円

【付記事項】

- ① 一括価格は、物件 1・2 の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の割付と超過売却（民事執行法第73条）の判定を行うことの参考として、一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件 1 の土地の内訳価格は物件 2 建物のための敷地利用権価格を控除した価格であり、物件 2 の建物価格は当該敷地利用権付建物としての価格である。

第 2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 58 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記簿記載と同じ

物件 番号	所 在 等	登 記 簿	現 況
1	所 在 地 地 番 目 地 積	延岡市土々呂町四丁目 4211番 宅地 249.44㎡	登記簿記載のとおり
2	所 在 地 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積	延岡市土々呂町四丁目4211番地 4211番 居宅 木造瓦・鉄板葺2階建 1階 87.38㎡、2階 27.54㎡	登記簿記載のとおり
物件 番号	特 記 事 項		
1	物件2建物の南西側に、直径1m程度の井戸が存する。		
2	建築後約55年経過しており、建物の損傷具合から近い将来において取り壊しも想定される建物である。建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ、現地調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については、専門調査機関の分析調査を要する。		
住 居 表 示		「住居表示未実施」	

第4 目的物件の位置・環境等

1-1 対象土地の概況及び利用状況等

目 的 物 件	物件 1	
位 置 ・ 交 通	J R 日豊本線 土々呂駅	700 m (道路距離)
	宮崎交通バス 棧橋商店街バス停	120 m (道路距離)
付 近 の 状 況	近隣地域は、延岡市役所の南約8.2km（直線距離）付近の、門川町との市境に位置する土々呂地区に所在する。国道10号と土々呂港に挟まれた、比較的街区の整った地域であり、戸建住宅を中心に小規模店舗等が混在する住宅地域である。津波ハザードによると津波リスクの高いエリアであり、空地も多く見られる。特に特段の変動要因は認められず、現状維持で推移するものと予測する。	
主な公法上の規制等	都市計画区分	市街化区域
	用 途 地 域	近隣商業地域
	建 ぺ い 率	80%
	容 積 率	200%
	防 火 規 制	なし
	その他の規制	景観計画区域、居住誘導区域
画 地 条 件 (規模, 形状等)	規 模	249.44㎡ (登記地積)
	間 口	約 16.5m
	奥 行	約 15.8m
	形 状	概ね正方形
	そ の 他	特になし
接 面 道 路	北西側で幅員約6m舗装市道(土々呂南北2号線)に等高に接面する。 (建築基準法第42条1項1号道路)	
土地の利用状況	物件 1 土地は物件 2 建物の敷地として利用されている。	
隣地の状況等	(北西側)道路を介して住宅、(南西側)倉庫、(北東側)住宅、(南東側)住宅	

1-2 対象土地の概況及び利用状況等

目 的 物 件	物件 1			
供給処理施設		前面道路(市道)の敷設	対象物件への接続	備 考
	上 水 道	あり	あり	
	下 水 道	あり	あり	※下記特記①事項参照
	都 市 ガ ス	なし	なし	
災害等の危険性	津波ハザード	想定浸水深5m～10m		国土交通省 重ねるハザードマップ (評価時点)
	洪水ハザード	特になし		
	高潮ハザード	想定浸水深0.5m～3m		
	土砂災害警戒区域等	指定なし	宮崎県土砂災害警戒区域 等マップ(評価時点)	
	そ の 他	指定なし		
埋蔵文化財の有無 及びその状態	延岡市教育委員会での聴取によると、対象地は周知の埋蔵文化財包蔵地 区域内には所在していない。			
土壌汚染の有無 及びその状態	住宅地図・登記簿による地歴調査及び聞き取り等の結果においては、汚 染リスクの端緒は確認できない。			
境 界 等	国土調査等の地積調査は行われていない地域である。 現地においては、物件1土地の外周はコンクリートブロックにより区分 され、北西側で接面する市道とは縁石等により区分されており、境界は概 ね確認できる。			
特 記 事 項	①下水道については、画地内に引込み済みであるものの、物件2建物への 接続はなされていない。 ②物件2建物の南西側に、直径1m程度の井戸が存する。			

2-1 対象建物の概況及び利用状況等

目 的 物 件	物件 2	
区 分	主たる建物	
建 築 時 期 等 経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日	昭和45年11月20日（新築）（登記記載）
	増改築等の有無	なし
	経 過 年 数	約 55 年
	経済的残存耐用年数	経済的耐用年数を超過
仕 様	構 造	木造瓦・鉄板葺 2 階建
	外 壁	プリント合板、タイル等
	内 壁	京壁、繊維壁、クロス、プリントベニア等
	天 井	合板、プリントベニア、クロス等
	床	畳、フローリング等
	設 備	電気設備、給排水設備
	そ の 他	特になし
現 況 床 面 積	1階 87.38㎡、2階 27.54㎡ 延114.92㎡（登記記載のとおり）	
現 況 用 途 等	現 況 用 途	居宅
	間 取 り	6DK（附属資料：間取図を参照）
品 等	総 合	劣る
	使 用 資 材	やや劣る
	施 工	劣る
保守管理の状態	劣る	
建物の利用状況	現況調査報告書のとおり	
特 記 事 項	①築後約55年経過した劣化の著しい建物である。外観上は外壁材の劣化、塗り壁部分の崩落、軒裏の腐食、雨戸・戸袋の腐食等のほか、基礎部分に複数箇所のひび割れが見られた。内部においても、殆どの部屋で雨漏り跡が見られ、複数箇所で天井に穴や崩落が認められた。床についても全体的にたわんでおり、トイレやお風呂場前の内廊下の床では顕著なたわみが見られた。シロアリ被害等については確認できず詳細不明である。数年間空き家の状態にあると思われ、庭には雑木や雑草が繁茂している。 ②築後約55年経過しており、建物の損傷具合から近い将来において取り壊しも想定される建物である。物件 2 建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ、現地調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については、専門調査機関の分析調査を要する。 ③室内に猫のトイレが残置されていることから、猫を飼育していたものと思われる。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

物件1の更地価格を算出し、これに必要に応じて建付減価を行って建付地価格を求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地 積 (㎡) ウ	持分 エ	建付減価 補正率 オ	土地価格(円) ア×イ×ウ×エ×オ ÷ カ
1	20,800	1.00	249.44	100/100	0.90	4,670,000

(内訳)

ア	規 準 と す る 公 示 地 等	延岡ー9 (公示地) ※公示地等の概要は第6 参考価格資料を参照				
	標準画地価格 の査定	公示地(公示価格) 20,200 円/㎡	時点修正 (100) 100	標準化補正 100 (100)	地域格差 100 (97)	標準画地価格 20,800 円/㎡
	<時点修正>	公示地の価格時点から評価日までの推定変動率である。				
	<標準化補正>	必要なし (格差率) 1.00				
	<地域格差>	街路条件 0.98	交通接近条件 × 1.00	環境条件 × 1.00	行政的条件 × 0.99	その他条件 × 1.00 (格差率) 0.97
イ	個別格差の内訳 (相乗積)	特になし (格差率) 1.00				
ウ	地 積	登記記載のとおり				
エ	建付減価補正率	老朽化の著しい建物が存することを考慮して査定。 (格差率) 0.90				

② 物件 2（建物）

当該建物の再調達原価を現在の建物建築費の推移動向、消費税の課税等も考慮した上、標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法並びに観察減価法を併用した減価修正を行って建物価格を判定した。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現 価 率		建物の価格(円) ア×イ×ウ×エ ÷ オ
			耐用年数法 ウ	観察減価 エ	
2	140,000	114.92	0.05	0.50	402,000

(内訳)

物件	ウ 耐用年数法（定額法）				エ
	(A) 残価率	(B) 経済的残存 耐用年数	(C) 経過年数	(D) 現価率	観察減価
2	5 %	経済的耐用年数 を超過	55年	0.05	△50%

ウ 耐用年数(定額法)

$$(D) \text{現価率} = 1 - (1 - (A) \text{残価率}) \times ((C) \text{経過年数} \div ((B) \text{経済的残存耐用年数} + (C) \text{経過年数}))$$

エ 観察減価

物理的・機能的・経済的減価要因を考慮した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に土地については敷地利用権価格を控除し、建物については敷地利用権価格を加算し、競売市場修正等を施して以下のとおり評価額を求めた。

① 敷地利用権価格

物件1の土地には、物件2の建物が存するため、土地利用権及びその効力の及ぶ範囲を次のとおり判定した。

物件 番号	建付地価格 (円) ア	敷地利用権割合 イ		効力の及ぶ範囲 ウ		敷地利用権価格 (円) ア×イ×ウ=エ
		率	利用権			
1	4,670,000	0.10	(物件2) 場所的利益	1.00	249.44㎡	467,000

ウ 効力の及ぶ範囲：土地建物の配置等から上記のとおり判定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) ア(1①オ+1②オ)	敷地利用権価格の 控除及び加算(円) イ(2①エ)	持分 ウ	占有 減価修正 エ	市場性 修正率 オ	競売市場 修正率 カ	評 価 額 (円) ア×イ×ウ×エ×オ×カ
1	4,670,000	－ 467,000	1/1	1.00	0.50	0.60	1,261,000
2	402,000	＋ 467,000	1/1	1.00	0.50	0.60	261,000
一 括 価 格 (合 計)							1,522,000

ウ	持 分	登記記載のとおり
エ	占有減価修正	修正の必要なし
オ	市場性修正率	①井戸が存すること、②建物の老朽化が著しく、管理の程度が劣ること、③アスベスト含有建材を使用している可能性があること等から、需要者は相当に限定される。
カ	競売市場修正率	競売市場の特殊性をもとに物件の種別、規模及び売却先例等を勘案して認定

第 6 参考価格資料

1 規準とした公示地等の概要

公 示 地 番 号	延岡－ 9
所 在	延岡市土々呂町 4 丁目 4 2 9 0 番 1
価 格	20, 200 円／㎡
位 置	J R 日豊本線「土々呂」駅へ約650mに位置する。
価 格 時 点	令和8年1月1日
地 積	240 ㎡
供給処理施設	水道・下水
接 面 街 路	南西 4. 5m 市道
用 途 指 定 等	市街化区域 第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%
地 域 の 概 要	一般住宅が建ち並ぶ既成住宅地域

2 固定資産税評価額

年 度	令和 7 年度	備 考
物件 1 土地	3,716,656 円	
物件 2 建物	1,948,417 円	

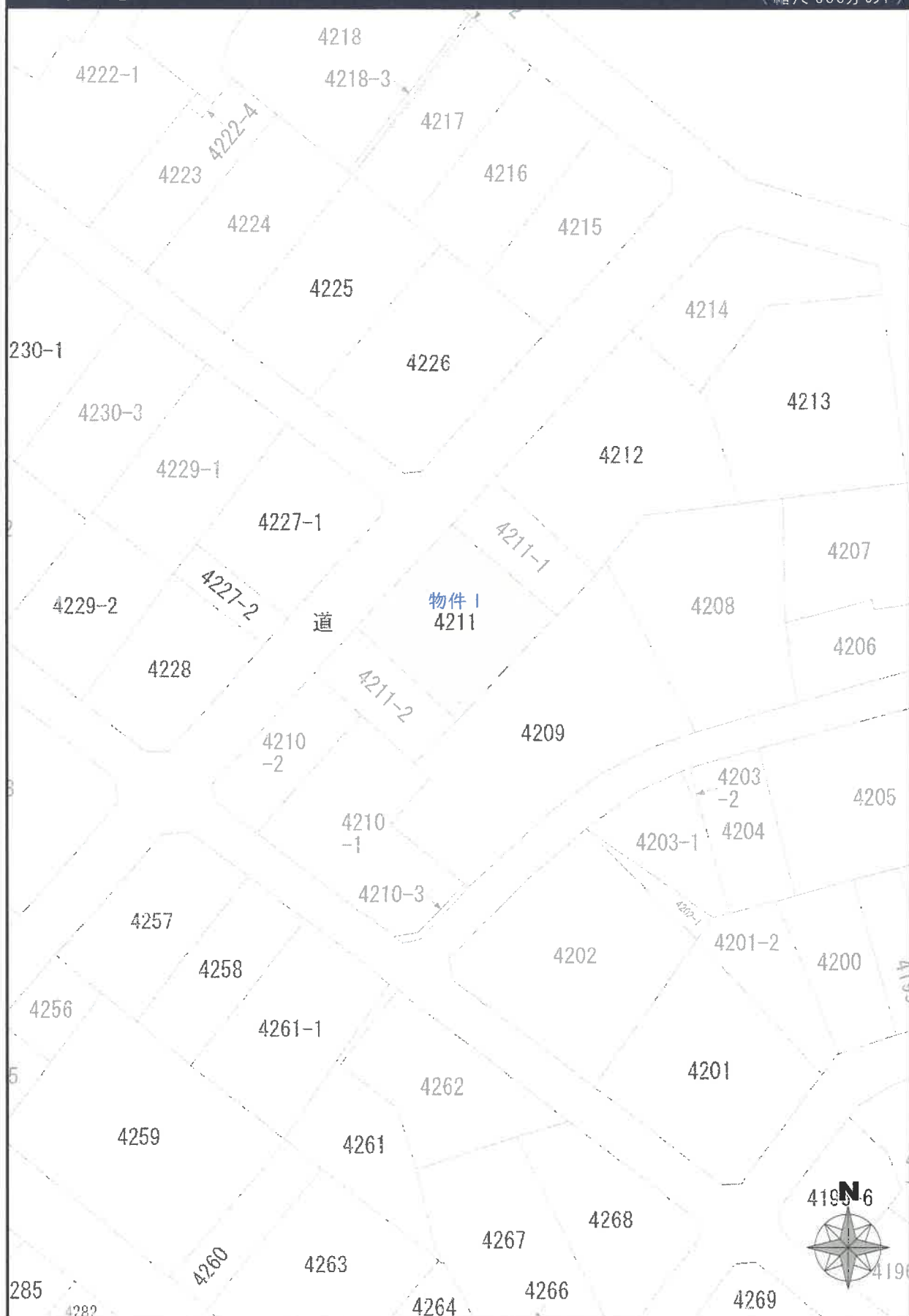
第 7 附属資料の表示

位置図	1葉
公図写し	1葉
土地建物位置関係図	1葉
間取図	1葉
現況写真	1葉

以 上

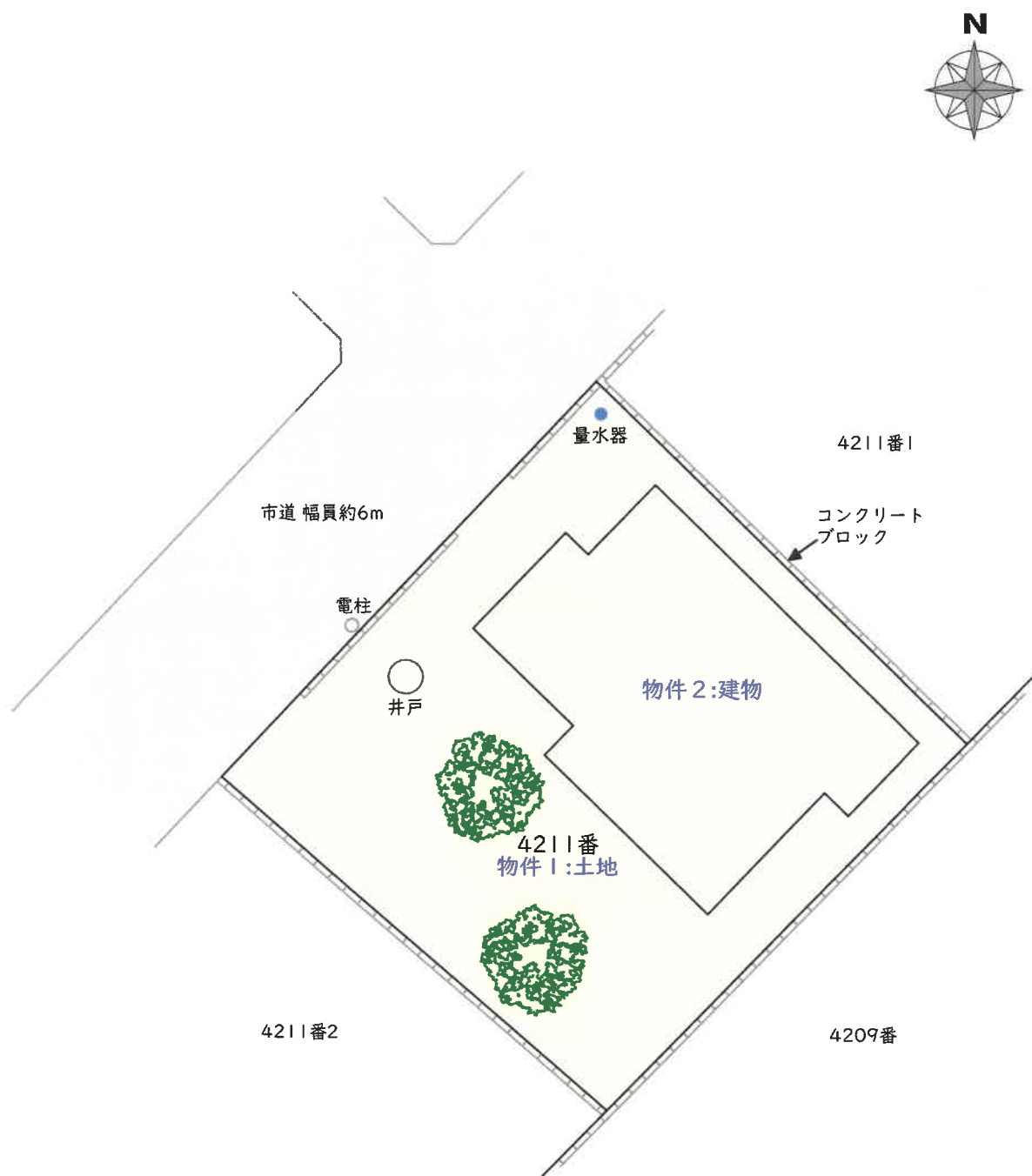
公図写し

宮崎地方法務局延岡支局
(縮尺 600分の1)



土地建物位置関係図

(縮尺200分の1)



※土地建物位置関係図は、建物の配置及び利用状況を図示したものであり、境界を確定した図面ではないので注意を要する。

間取図

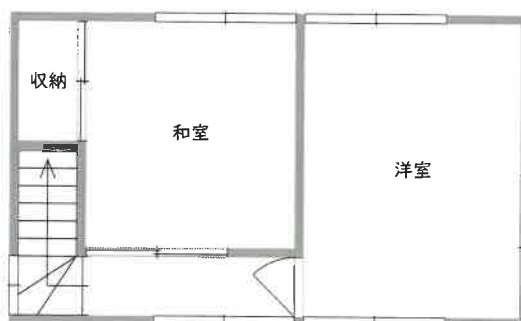
(縮尺 100分の1)

物件 2 : 建物

1 F



2 F



現況写真

写真 1

(南西方より)



写真 2

(北東方より)

